

《平成28年度》
【大麦（飼料用）輸入時の検査】

① かび毒

No.	対象物質名	試料 点数	基準値 (mg/kg)	基準値 以下の 点数	定量 下限 (mg/kg)	定量下限 以上の 点数	濃度範囲 (mg/kg)
1	アフラトキシンB ₁	15	0.02	15	0.001	0	<0.001

② 重金属

No.	対象物質名	試料 点数	基準値 (mg/kg)	基準値 以下の 点数	定量 下限 (mg/kg)	定量下限 以上の 点数	濃度範囲 (mg/kg)
1	カドミウム	15	1	15	0.02	7	0.01-0.03
2	鉛	15	3	15	0.1	8	0.01-0.04

③ 残留農薬

No.	農薬名	種類	試料 点数	基準値 (mg/kg)	基準値 以下の 点数	定量 下限 (mg/kg)	定量下限 以上の 点数	濃度範囲 (mg/kg)
1	2,4-D	除草剤	15	0.5	15	0.02	1	0.02
2	アトラジン	除草剤	15	0.02	15	0.01	0	<0.01
3	アルジカルブ	殺虫剤	15	0.02	15	0.01	0	<0.01
4	イミダクロプリド	殺虫剤	15	0.05	15	0.02	0	<0.02
5	カルタップ、チオシラム及びベンスルタップ	殺虫剤	15	0.2	15	0.1	0	<0.1
6	カルバリル	殺虫剤	15	5	15	0.01	0	<0.01
7	カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル	殺菌剤	15	0.6	15	0.1	0	<0.1
8	カルボフラン	殺虫剤	15	0.2	15	0.02	0	<0.02
9	グリホサート	除草剤	15	20	15	0.02	13	0.02-1.1
10	グルホシネート	除草剤	15	0.5	15	0.02	0	<0.02
11	クロルピリホス	殺虫剤	15	0.2	15	0.01	1	0.01
12	クロルピリホスメチル	殺虫剤	15	6	15	0.01	1	0.04
13	クロルプロファム	除草剤	15	0.05	15	0.01	0	<0.01
14	シアナジン	除草剤	15	0.05	15	0.01	0	<0.01
15	ジカンバ	除草剤	15	7	15	0.02	0	<0.02
16	ジクロルボス及びナレド	殺虫剤	15	0.2	15	0.01	0	<0.01
17	ジクワット	除草剤	15	5	15	0.05	1	0.02
18	シハロトリン	殺虫剤	15	0.2	15	0.02	0	<0.02
19	シフルトリン	殺虫剤	15	2	15	0.05	0	<0.05
20	ジメトエート	殺虫剤	15	0.04	15	0.02	0	<0.02
21	ダイアジノン	殺虫剤	15	0.1	15	0.01	0	<0.01
22	チアベンダゾール	殺虫剤	15	0.05	15	0.05	0	<0.05
23	デルタメトリン及びトラロメトリン	殺虫剤	15	1	15	0.05	0	<0.05
24	テルブホス	殺虫剤	15	0.01	15	0.005	0	<0.005
25	トリシクラゾール	殺菌剤	15	0.02	15	0.02	0	<0.02
26	二臭化エチレン（EDB）	殺虫剤	15	0.01	15	0.01	0	<0.01
27	パラコート	除草剤	15	0.05	15	0.05	0	<0.05
28	パラチオン	殺虫剤	15	0.5	15	0.01	0	<0.01
29	ピペロニルブトキシド	殺虫剤	15	24	15	0.02	2	0.02-0.24
30	ピリミホスメチル	殺虫剤	15	1	15	0.01	2	0.01-0.06
31	フェントロチオン	殺虫剤	15	5	15	0.01	1	0.08
32	フェノブカルブ	殺虫剤	15	0.3	15	0.01	0	<0.01
33	フェントエート	殺虫剤	15	0.4	15	0.01	0	<0.01
34	フェンバレーレート	殺虫剤	15	8	15	0.05	0	<0.05
35	プロモキシニル	除草剤	15	0.2	15	0.05	0	<0.05
36	ベルメトリン	殺虫剤	15	2	15	0.05	0	<0.05
37	ペンタゾン	除草剤	15	0.2	15	0.02	0	<0.02
38	ペンディメタリン	除草剤	15	0.2	15	0.02	0	<0.02
39	ホスメット	殺虫剤	15	0.05	15	0.02	0	<0.02
40	ホレート	殺虫剤	15	0.05	15	0.02	0	<0.02
41	マラチオン	殺虫剤	15	2	15	0.01	0	<0.01
42	メチダチオン	殺虫剤	15	0.02	15	0.02	0	<0.02
43	メトプレン	殺虫剤	15	5	15	0.02	1	0.02

（注）定量限界は、分析機関によって異なるため、最も大きい値を記載しています。

定量下限

分析対象とする化学物質について、適切な精確さをもって定量できる（具体的な濃度が決められる）最低の濃度。食品の種類、分析対象とする化学物質の種類、採用する分析法によって異なる。